

## 雲仙岳火山活動状況 Volcanic Activity of Unzen Volcano

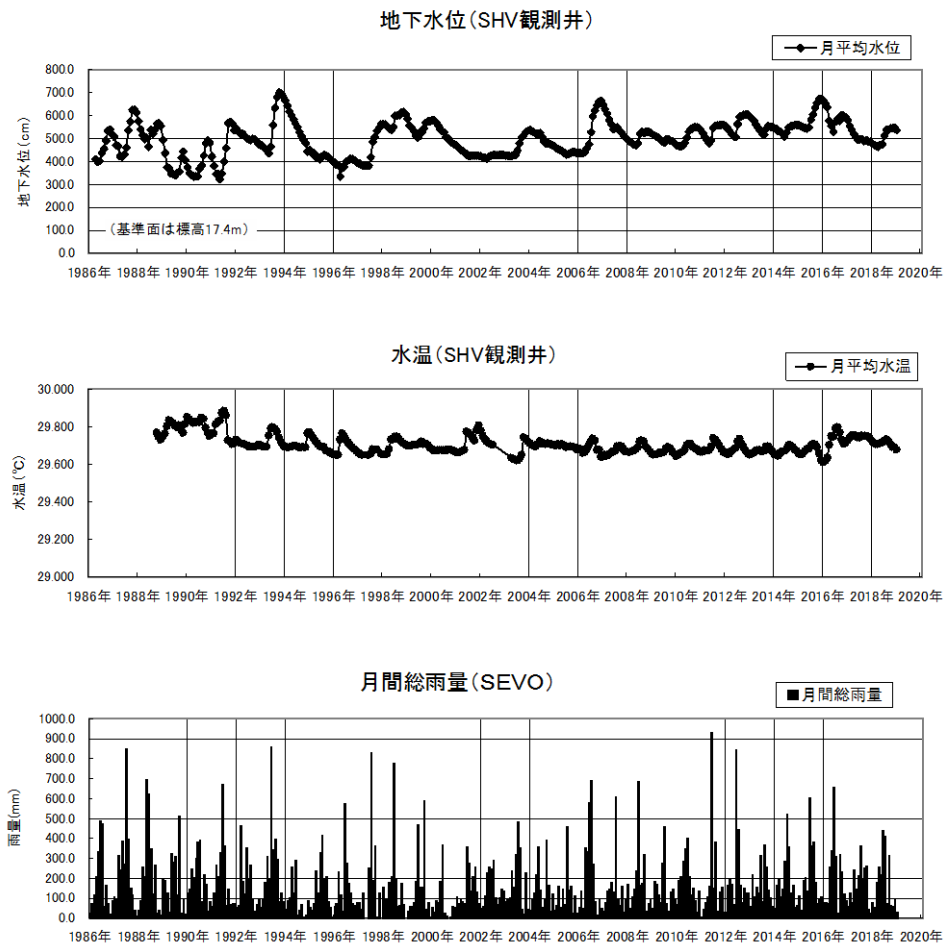
九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター  
Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Science, Kyushu University

この期間も平成新山付近のごく小規模な地震や噴気は観測されるものの、雲仙火山の活動は引き続き低調な状態で推移しており、特段の変化は認められない。

島原観測所温泉観測井(SHV 観測井)における水位・水温・雨量の連続観測結果を報告する。

SHV 観測井は眉山東麓に位置するセンター構内(標高 47.9m)に設置されている。孔井地質は全層が雲仙火山に由来する火山砕岩である。深さは 365m で、孔径は上部(0~100m 間)が 200mm、下部(100~365m 間)が 75mm である。全長にわたりケーシングパイプが挿入されており、255~355m 間にはストレーナーが配置されている。水圧式水位計が地表から 30.5m、水晶温度計を 329m の深さに設置されている。

第1図に水位・水温・雨量の連続観測結果を示す。地下水位は時差2ヶ月・半減期12ヶ月の実効雨量(雲仙岳)と正の相関が強いことがわかっている(回帰期間:1998年1月~1999年12月)。



第1図 SHV観測井における月平均水位・月平均水温・月間総雨量の観測結果。2005年5月以降の月間総雨量は気象庁アメダス島原を使用。

Fig. 1. Results of monthly-averaged water level and water temperature observed in the SHV borehole. Monthly total rainfall at the SHV borehole site is shown in the figure. Data of rainfall since May 2005 is from the JMA AMeDAS Shimabara.